

令和 6 年度
指定管理者制度運用状況表

指定管理者制度運用状況表

対象期間	令和6年度	所管課		福祉総務課		
施設名	落合ふれあいの家	指定管理者	落合地区社会福祉協議会		指定管理者制度導入年月日	平成24年4月1日
指定期間	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日	5年	募集方法	非公募		

1 開館日数

R5	R6
359	358

2 指定管理者の従事者数

正規職員	非正規職員	合計
0	12	12

3 自主事業の開催数

R5	R6
15	20

※指定管理者自らが企画・運営する事業を指します。

4 利用者数

R5	R6	増減理由
1,933	2,108	—

5 苦情件数

R5	R6	増減理由
0	0	—

6 指定管理料

R5	R6	増減理由
600,000	600,000	—

7 利用料収入（利用料金制度を導入している場合）

R5	R6	増減理由
—	—	—

8 施設管理・運用状況の把握及び改善指示等

（１）次の手法により、施設管理・運営状況を把握しました。

施設管理については利用者からの意見や破損等が生じた場合に随時報告をさせ、運営状況については毎月の報告を義務付けています。	前年度からの変更	無
--	----------	---

（２）施設管理・運営状況を把握し、次のような改善を行いました。

施設管理については、修繕が必要となった場合に速やかに市に報告し、対応について協議することを、また、運営については、利用者からの意見を聞き、利用者対応に改善が必要な事項は改善するよう指導しました。

9 利用者の意見把握及び改善等

（１）次の手法により、利用者の意見を把握しました。

利用者に直接意見を聞きました。	前年度からの変更	無
-----------------	----------	---

（２）利用者の意見を把握し、次のような改善を行いました。（意見がない場合は、今後意見を取り入れるための対応を記入）

ふれあいの家事業の開催に合わせ会館を訪問し、利用者に意見を聞いたところ、木曜喫茶事業は大変好評なため、今後も継続して実施していただくよう依頼しました。

10 収支状況

項目	予算（円）	決算（円）
収入合計	850,000	823,078
支出合計	850,000	777,246
収支差引	0	45,832

11 評価項目

評価項目		指定管理者	施設所管課
実施体制等	仕様書等に基づき、適正な維持管理業務を実施しているか。	○	○
	施設の目的に沿った自主事業を実施しているか。	○	○
	協定書等に従い、開館日や会館時間等を遵守しているか。	○	○
	業務を実施するために適正な人員を配置しているか。	○	○
	適切な労働環境や教育体制の構築に努めているか。	○	○
	防犯・防災・事故等への対応策を講じているか。	○	○
	協定書等で定められた事業計画書や報告書等を適正に提出しているか。	○	○
	事前に市の承認を受けるなど、適正な外部委託を行っているか。		
	個人情報等を適正に管理しているか。	○	○
	協定書等に従い、情報を適正に管理・公表しているか。	○	○
	備品等を適正に管理しているか。	○	○
サービス	施設の予約や利用等を、公平かつ適正に実施しているか。	○	○
	サービスの向上や利用の促進に向けた取り組みを積極的に行っているか。	○	○
	アンケートやヒアリングなど利用者の声を聞く仕組みを設けているか。	○	○
	利用者からの要望や苦情などに適正に対応しているか。	○	○
	利用に支障をきたすことがないように、修繕を実施しているか。	○	○
	事業実施に必要な保険に加入しているか。		
収支	指定管理に係る経費と組織運営に係る経費を区別し、適正に管理しているか。	○	○
	専用の口座、帳簿等を備え、適正に経理処理を実施しているか。	○	○
	収支計画書と比較して大きな隔たりなく、適正に予算を執行しているか。	○	○
	経費の節減に取り組んでいるか。	○	○

○：（実施、管理等が）できている

×：（実施、管理等が）できていない

12 指定管理者による総合評価

市の公共施設として、適切な施設管理及び運営（地域のふれあいの場所としての役割等）を心掛け、ふれあいの家事業以外にも、一般来館者や団体に趣味の活動や打ち合せといった様々な用途で施設を利用していただくことで、地域の活動拠点としての役割を担うことができました。また、ふれあいの家管理委員会を開催し、今後の課題解決等地域福祉の向上に寄与しました。

13 施設所管課による総合評価

年3回の利用者会議において利用者の意見を把握し、改善に努めていることから、市民からの苦情も無く適切に管理されています。また、個人の利用者も多く、ふれあいの家の役割の1つである「気軽に立ち寄れる施設」として地域において利用されており、適切な管理・運営がされていると考えます。

指定管理者制度運用状況表

対象期間	令和6年度				所管課	福祉総務課
施設名	深谷大上ふれあいの家	指定管理者	大上地区社会福祉協議会		指定管理者制度導入年月日	平成22年4月1日
指定期間	令和2年4月1日～ 令和7年3月31日	5年	募集方法	非公募		

1 開館日数

R5	R6
359	357

2 指定管理者の従事者数

正規職員	非正規職員	合計
0	28	28

3 自主事業の開催数

R5	R6
11	10

※指定管理者自らが企画・運営する事業を指します。

4 利用者数

R5	R6	増減理由
3,966	4,075	—

5 苦情件数

R5	R6	増減理由
0	0	-

6 指定管理料

R5	R6	増減理由
1,040,000	1,040,000	—

7 利用料収入（利用料金制度を導入している場合）

R5	R6	増減理由
—	—	—

8 施設管理・運用状況の把握及び改善指示等

（１）次の手法により、施設管理・運営状況を把握しました。

施設管理については利用者からの意見や破損等が生じた場合に随時報告をさせ、運営状況については毎月の報告を義務付けています。	前年度からの変更	無
--	----------	---

（２）施設管理・運営状況を把握し、次のような改善を行いました。

施設管理については、修繕が必要となった場合に速やかに市に報告し、対応について協議することを、また、運営については、利用者からの意見を聞き、利用者対応に改善が必要な事項は改善するよう指導しました。

9 利用者の意見把握及び改善等

（１）次の手法により、利用者の意見を把握しました。

利用者に直接意見を聞きました。	前年度からの変更	無
-----------------	----------	---

（２）利用者の意見を把握し、次のような改善を行いました。（意見がない場合は、今後意見を取り入れるための対応を記入）

ふれあいの家の事業の開催に合わせ会館を訪問し、利用者に意見を聞いたところ、火曜喫茶等の事業は大変好評なため、今後も継続して実施していただくよう依頼しました。
--

10 収支状況

項目	予算（円）	決算（円）
収入合計	1,139,000	1,162,107
支出合計	1,139,000	1,162,107
収支差引	0	0

11 評価項目

評価項目		指定管理者	施設所管課
実施体制等	仕様書等に基づき、適正な維持管理業務を実施しているか。	○	○
	施設の目的に沿った自主事業を実施しているか。	○	○
	協定書等に従い、開館日や会館時間等を遵守しているか。	○	○
	業務を実施するために適正な人員を配置しているか。	○	○
	適切な労働環境や教育体制の構築に努めているか。	○	○
	防犯・防災・事故等への対応策を講じているか。	○	○
	協定書等で定められた事業計画書や報告書等を適正に提出しているか。	○	○
	事前に市の承認を受けるなど、適正な外部委託を行っているか。		
	個人情報等を適正に管理しているか。	○	○
	協定書等に従い、情報を適正に管理・公表しているか。	○	○
	備品等を適正に管理しているか。	○	○
サービス	施設の予約や利用等を、公平かつ適正に実施しているか。	○	○
	サービスの向上や利用の促進に向けた取り組みを積極的に行っているか。	○	○
	アンケートやヒアリングなど利用者の声を聞く仕組みを設けているか。	○	○
	利用者からの要望や苦情などに適正に対応しているか。	○	○
	利用に支障をきたすことがないように、修繕を実施しているか。	○	○
	事業実施に必要な保険に加入しているか。		
収支	指定管理に係る経費と組織運営に係る経費を区別し、適正に管理しているか。	○	○
	専用の口座、帳簿等を備え、適正に経理処理を実施しているか。	○	○
	収支計画書と比較して大きな隔たりなく、適正に予算を執行しているか。	○	○
	経費の節減に取り組んでいるか。	○	○

○：（実施、管理等が）できている ×：（実施、管理等が）できていない

12 指定管理者による総合評価

市の公共施設として、適切な施設管理及び運営を心掛け、多世代が交流できるイベントについては、開催時期を見直し、令和5年度と比較して参加者が倍増するなど、地域のふれあいの場としての役割を担えたと考えています。今後も、高齢者（壮年を含む）向けにスマホ教室や健康講座など、新たなイベントを実施し、より多くの皆様方が活用できるように推進してまいります。

13 施設所管課による総合評価

定期的に実施されている会議において利用者の意見を把握し、改善に努めていることから、市民からの苦情も無く適切に管理されています。また、新たな取り組みとして、初心者の方にも気軽に参加できるよう自主事業である健康マーシャンの指導者を配置するなど、施設利用者の増加を目標に取り組んでおり、管理・運営について評価しています。

指定管理者制度運用状況表

対象期間	令和6年度			所管課	障がい福祉課	
施設名	ばらの里	指定管理者	社会福祉法人 県央福祉会		指定管理者制度導入年月日	平成18年4月1日
指定期間	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日	5年	募集方法	公募		

1 開館日数

R5	R6
249	268

2 指定管理者の従事者数

正規職員	非正規職員	合計
3	10	13

3 自主事業の開催数

R5	R6
9	9

※指定管理者自らが企画・運営する事業を指します。

4 利用者数

R5	R6	増減理由
2,970	3,146	—

5 苦情件数

R5	R6	増減理由
1	1	—

6 指定管理料

R5	R6	増減理由
53,193	37,548	—

7 利用料収入（利用料金制度を導入している場合）

R5	R6	増減理由
—	—	—

8 施設管理・運用状況の把握及び改善指示等

（１）次の手法により、施設管理・運営状況を把握しました。

定期的に現地確認を行うとともに、毎月の業務報告書で把握しました。	前年度からの変更	無
----------------------------------	----------	---

（２）施設管理・運営状況を把握し、次のような改善を行いました。

作業室のエアコンが故障したため、すぐに新しいものへ交換しました。 施設において修繕が必要になった場合は、速やかに市に報告・連絡・相談を行うことを指導しています。

9 利用者の意見把握及び改善等

（１）次の手法により、利用者の意見を把握しました。

定期的なモニタリングに加えて、連絡ノートによる利用者・保護者との日々のやり取りなどで要望を伺い、可能な限り適切な環境を整えました。	前年度からの変更	無
---	----------	---

（２）利用者の意見を把握し、次のような改善を行いました。（意見がない場合は、今後意見を取り入れるための対応を記入）

毎月の職員会議・支援会議にて利用者個々の状況を共有し、レイアウトを含め、導線の整理など、機能的かつ快適に通所していただける工夫をしました。また利用者の発言・様子をアセスメントし、より過ごしやすそうに取り組んでいます。
--

10 収支状況

項目	予算（円）	決算（円）
収入合計	35,478,243	36,456,057
支出合計	40,000,000	39,485,305
収支差引	-4,521,757	-3,029,248

11 評価項目

評価項目		指定管理者	施設所管課
実施体制等	仕様書等に基づき、適正な維持管理業務を実施しているか。	○	○
	施設の目的に沿った自主事業を実施しているか。	○	○
	協定書等に従い、開館日や会館時間等を遵守しているか。	○	○
	業務を実施するために適正な人員を配置しているか。	○	○
	適切な労働環境や教育体制の構築に努めているか。	○	○
	防犯・防災・事故等への対応策を講じているか。	○	○
	協定書等で定められた事業計画書や報告書等を適正に提出しているか。	○	○
	事前に市の承認を受けるなど、適正な外部委託を行っているか。	○	○
	個人情報等を適正に管理しているか。	○	○
	協定書等に従い、情報を適正に管理・公表しているか。	○	○
	備品等を適正に管理しているか。	○	○
サービス	施設の予約や利用等を、公平かつ適正に実施しているか。	○	○
	サービスの向上や利用の促進に向けた取り組みを積極的に行っているか。	○	○
	アンケートやヒアリングなど利用者の声を聞く仕組みを設けているか。	○	○
	利用者からの要望や苦情などに適正に対応しているか。	○	○
	利用に支障をきたすことがないよう、修繕を実施しているか。	○	○
	事業実施に必要な保険に加入しているか。	○	○
収支	指定管理に係る経費と組織運営に係る経費を区別し、適正に管理しているか。	○	○
	専用の口座、帳簿等を備え、適正に経理処理を実施しているか。	○	○
	収支計画書と比較して大きな隔たりなく、適正に予算を執行しているか。	○	○
	経費の節減に取り組んでいるか。	○	○

○：（実施、管理等が）できている ×：（実施、管理等が）できていない

12 指定管理者による総合評価

利用者獲得や安定した収益を維持するための努力が引き続き求められている。また、より魅力ある活動を提案し、継続していく姿勢が求められる。

13 施設所管課による総合評価

引き続き、収支の改善、魅力ある活動の提案等により利用者の獲得を図り、安定した施設運営が継続できるよう期待します。

指定管理者制度運用状況表

対象期間	令和6年度	所管課	障がい福祉課
施設名	希望の家	指定管理者	社会福祉法人 県央福祉会
指定期間	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日	5年	募集方法 公募
			指定管理者制度導入年月日 平成18年4月1日

1 開館日数

R5	R6
279	275

2 指定管理者の従事者数

正規職員	非正規職員	合計
4	17	21

3 自主事業の開催数

R5	R6
53	32

※指定管理者自らが企画・運営する事業を指します。

4 利用者数

R5	R6	増減理由
4,317	4,560	—

5 苦情件数

R5	R6	増減理由
0	0	—

6 指定管理料

R5	R6	増減理由
1,748,208	1,791,552	—

7 利用料収入（利用料金制度を導入している場合）

R5	R6	増減理由
—	—	—

8 施設管理・運用状況の把握及び改善指示等

（１）次の手法により、施設管理・運営状況を把握しました。

定期的に現地確認を行うとともに、毎月の業務報告書で把握しました。	前年度からの変更	無
----------------------------------	----------	---

（２）施設管理・運営状況を把握し、次のような改善を行いました。

<p>早急に対応すべきものではありませんでした。 施設において修繕が必要になった場合は、速やかに市に報告・連絡・相談を行うことを指導しています。</p>
--

9 利用者の意見把握及び改善等

（１）次の手法により、利用者の意見を把握しました。

個別面談、日頃の支援や連絡帳にて、利用者・家族の意見を把握しました。	前年度からの変更	無
------------------------------------	----------	---

（２）利用者の意見を把握し、次のような改善を行いました。（意見がない場合は、今後意見を取り入れるための対応を記入）

<p>個別支援計画では、モニタリングの際に達成状況を確認し、本人の要望で項目を変更しています。また、個々の取り組みの状況を見て、休憩をこまめに入れるなど、障がい特性を考慮したスケジュールへ変更しています。作業環境では、同部屋に刺激を感じる人がいる場合には、部屋を変更するなど、作業環境を改善しています。</p>

10 収支状況

項目	予算（円）	決算（円）
収入合計	54,891,200	50,821,487
支出合計	44,170,700	39,111,446
収支差引	10,720,500	11,710,041

11 評価項目

評価項目		指定管理者	施設所管課
実施体制等	仕様書等に基づき、適正な維持管理業務を実施しているか。	○	○
	施設の目的に沿った自主事業を実施しているか。	○	○
	協定書等に従い、開館日や会館時間等を遵守しているか。	○	○
	業務を実施するために適正な人員を配置しているか。	○	○
	適切な労働環境や教育体制の構築に努めているか。	○	○
	防犯・防災・事故等への対応策を講じているか。	○	○
	協定書等で定められた事業計画書や報告書等を適正に提出しているか。	○	○
	事前に市の承認を受けるなど、適正な外部委託を行っているか。	○	○
	個人情報等を適正に管理しているか。	○	○
	協定書等に従い、情報を適正に管理・公表しているか。	○	○
	備品等を適正に管理しているか。	○	○
サービス	施設の予約や利用等を、公平かつ適正に実施しているか。	○	○
	サービスの向上や利用の促進に向けた取り組みを積極的に行っているか。	○	○
	アンケートやヒアリングなど利用者の声を聞く仕組みを設けているか。	○	○
	利用者からの要望や苦情などに適正に対応しているか。	○	○
	利用に支障をきたすことがないよう、修繕を実施しているか。	○	○
	事業実施に必要な保険に加入しているか。	○	○
収支	指定管理に係る経費と組織運営に係る経費を区別し、適正に管理しているか。	○	○
	専用の口座、帳簿等を備え、適正に経理処理を実施しているか。	○	○
	収支計画書と比較して大きな隔たりなく、適正に予算を執行しているか。	○	○
	経費の節減に取り組んでいるか。	○	○

○：（実施、管理等が）できている

×：（実施、管理等が）できていない

12 指定管理者による総合評価

市の公共施設として、適正な施設管理及び運営ができたと考えてます。毎年ニーズの強い外食・外出活動はコロナ前と同水準で積極的に取り入れることができました。今後とも市民・利用者が求める余暇プログラムを提供していきます。また、地域の相談事業所や特別支援学校等とより密に連携を取り、高い登録者数と利用率を目指していきます。

13 施設所管課による総合評価

引き続き、関係各所との連携により、利用者のニーズに沿った活動を運営できる様収支の改善、魅力のある活動の提案等により登録者の増加や利用率の向上を図り、安定した施設運営ができるよう期待します。

指定管理者制度運用状況表

対象期間	令和6年度			所管課	高齢介護課	
施設名	綾瀬西 デイサービスセンター	指定管理者	社会福祉法人 道志会		指定管理者制度導入年月日	平成18年4月1日
指定期間	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日	5年	募集方法	公募		

1 開館日数		2 指定管理者の従事者数			3 自主事業の開催数	
R5	R6	正規職員	非正規職員	合計	R5	R6
308	308	5	20	25	400	298
4 利用者数		5 苦情件数			※指定管理者自らが企画・運営する事業を指します。	
R5	R6	増減理由	R5	R6	増減理由	
9,209	8,378	入院、体調不良の影響で中止者がおり、新規獲得数に及ばなかった	0	1	送迎停車場所で指摘あり	
6 指定管理料		7 利用料収入（利用料金制度を導入している場合）				
R5	R6	増減理由	R5	R6	増減理由	
0	0	-	86,333,386	80,820,847	利用者減少	

8 施設管理・運用状況の把握及び改善指示等

（１）次の手法により、施設管理・運営状況を把握しました。

月次の報告書の提出及び定期的な情報交換会を開催しました。	前年度からの変更	無
------------------------------	----------	---

（２）施設管理・運営状況を把握し、次のような改善を行いました。

以前から、空調設備が老朽化に伴い施設と協議を進めてまいりました。 令和7年度で「西デイサービスセンターボイラー等更新設計委託」を発注し、他老朽箇所も含め、市、施設及び設計業者と協議を重ね、その設計書を基に、令和8年度に修繕箇所を精査し令和9年度に修繕工事の発注を予定している。 また、施設において、修繕・交換等が必要になった場合は速やかに市に報告・連絡・相談を行うことを確認しました。
--

9 利用者の意見把握及び改善等

（１）次の手法により、利用者の意見を把握しました。

指定管理者による利用者アンケートを実施しました。 苦情があった場合には、苦情処理委員会で原因から解決まで迅速で誠意ある対応を行います。	前年度からの変更	無
--	----------	---

（２）利用者の意見を把握し、次のような改善を行いました。（意見がない場合は、今後意見を取り入れるための対応を記入）

利用者からの意見・要望へは、改善策をたて個別に回答を行い、センター内に掲示するなど、苦情に繋がらないようにしています。

10 収支状況

項目	予算（円）	決算（円）
収入合計	96,504,000	81,241,267
支出合計	84,378,000	75,682,790
収支差引	12,126,000	5,558,477

11 評価項目

評価項目		指定管理者	施設所管課
実施体制等	仕様書等に基づき、適正な維持管理業務を実施しているか。	○	○
	施設の目的に沿った自主事業を実施しているか。	○	○
	協定書等に従い、開館日や会館時間等を遵守しているか。	○	○
	業務を実施するために適正な人員を配置しているか。	○	○
	適切な労働環境や教育体制の構築に努めているか。	○	○
	防犯・防災・事故等への対応策を講じているか。	○	○
	協定書等で定められた事業計画書や報告書等を適正に提出しているか。	○	○
	事前に市の承認を受けるなど、適正な外部委託を行っているか。	○	○
	個人情報等を適正に管理しているか。	○	○
	協定書等に従い、情報を適正に管理・公表しているか。	○	○
	備品等を適正に管理しているか。	○	○
サービス	施設の予約や利用等を、公平かつ適正に実施しているか。	○	○
	サービスの向上や利用の促進に向けた取り組みを積極的に行っているか。	○	○
	アンケートやヒアリングなど利用者の声を聞く仕組みを設けているか。	○	○
	利用者からの要望や苦情などに適正に対応しているか。	○	○
	利用に支障をきたすことがないように、修繕を実施しているか。	○	○
	事業実施に必要な保険に加入しているか。	○	○
収支	指定管理に係る経費と組織運営に係る経費を区別し、適正に管理しているか。	○	○
	専用の口座、帳簿等を備え、適正に経理処理を実施しているか。	○	○
	収支計画書と比較して大きな隔たりなく、適正に予算を執行しているか。	○	○
	経費の節減に取り組んでいるか。	○	○

○：（実施、管理等が）できている

×：（実施、管理等が）できていない

12 指定管理者による総合評価

市の指定管理者として、また、地域の介護・福祉事業の健全な運営を担う施設として、他職種との連携を密にし、利用者の自立支援に繋がるサービスを提供することができました。また、併設されている綾瀬西高校と夏祭りやクリスマス会等の交流事業を実施するなど、事業計画に基づき計画的な運営を行うことができました。

13 施設所管課による総合評価

市及び市民の要求に対して、臨機応変に対応しながら適正な施設管理及び運営を行っていた。綾瀬西高校との連携事業や自主事業を開催する等、利用率向上及び安心してサービス利用ができるよう努めた点も評価できる。

指定管理者制度運用状況表

対象期間	令和6年度			所管課	生涯学習課	
施設名	綾瀬市オーエンス文化会館等	指定管理者	株式会社　オーエンス		指定管理者制度導入年月日	平成27年4月1日
指定期間	令和2年4月1日 ～令和7年3月31日	5年	募集方法	公募		

1 開館日数

R5	R6
295	294

2 指定管理者の従事者数

正規職員	非正規職員	合計
6	64	70

3 自主事業の開催数

R5	R6
8	7

※指定管理者自らが企画・運営する事業を指します。

4 利用者数

R5	R6	増減理由
205,356	225,587	—

5 苦情件数

R5	R6	増減理由
3	4	南部ふれあい会館の空調不調のため。

6 指定管理料

R5	R6	増減理由
205,943,962	218,323,852	—

7 利用料収入（利用料金制度を導入している場合）

R5	R6	増減理由
26,059,613	24,476,240	—

8 施設管理・運用状況の把握及び改善指示等

（１）次の手法により、施設管理・運営状況を把握しました。

月間報告書、年間報告書、四半期毎の業務自己評価表（セルフモニタリングシート）の提出を受け、施設管理・運営状況の把握を行いました また、月1回の指定管理者と生涯学習課の連絡会議において、施設管理・運営上の問題点を確認するとともに、利用者からの意見や要望、苦情などについて、情報の共有化を図りました。	前年度からの変更	有
---	----------	---

（２）施設管理・運営状況を把握し、次のような改善を行いました。

上記及び随時の情報把握により、次のような改善を行いました。 （改善事項） <ul style="list-style-type: none">施設の見回りや点検を強化し、予防的保全に努めました。簡易な修繕に関しては、職員による迅速な対応を心掛けました。職員研修の充実により、防火・防災・防犯を心掛けました。早園地区センターの建替えによる休館の際は、利用者のスムーズな移行と職員雇用の継続のために、全館で協力体制を構築しました。

9 利用者の意見把握及び改善等

（１）次の手法により、利用者の意見を把握しました。

各施設に設置した意見箱の活用や外部機関によるアンケート調査を行い、利用者の意見を把握しました。また、各館で学習相談を随時行う中で、利用者の生の声を直接聞くこともありました。	前年度からの変更	無
--	----------	---

（２）利用者の意見を把握し、次のような改善を行いました。（意見がない場合は、今後意見を取り入れるための対応を記入）

利用者の意見は、月1回の指定管理者と生涯学習課の連絡調整会議において、情報の共有化を図りました。また、管理人代表者会議の中で利用者の声を情報共有し、対応改善指導を行いました。 （改善事項） <ul style="list-style-type: none">南部ふれあい会館 自由学習室利用者用手荷物保管カゴの設置。南部ふれあい会館 自由学習室利用者用メモ用紙として裏紙を提供。中央公民館 視聴覚室机椅子の変更によるレイアウト改善。

10 収支状況

項目	予算（円）	決算（円）
収入合計	275,106,156	290,212,557
支出合計	275,106,156	290,212,557
収支差引	0	0

11 評価項目

評価項目		指定管理者	施設所管課
実施体制等	仕様書等に基づき、適正な維持管理業務を実施しているか。	○	○
	施設の目的に沿った自主事業を実施しているか。	○	○
	協定書等に従い、開館日や会館時間等を遵守しているか。	○	○
	業務を実施するために適正な人員を配置しているか。	○	○
	適切な労働環境や教育体制の構築に努めているか。	○	○
	防犯・防災・事故等への対応策を講じているか。	○	○
	協定書等で定められた事業計画書や報告書等を適正に提出しているか。	○	○
	事前に市の承認を受けるなど、適正な外部委託を行っているか。	○	○
	個人情報等を適正に管理しているか。	○	○
	協定書等に従い、情報を適正に管理・公表しているか。	○	○
	備品等を適正に管理しているか。	○	○
サービス	施設の予約や利用等を、公平かつ適正に実施しているか。	○	○
	サービスの向上や利用の促進に向けた取り組みを積極的に行っているか。	○	○
	アンケートやヒアリングなど利用者の声を聞く仕組みを設けているか。	○	○
	利用者からの要望や苦情などに適正に対応しているか。	○	○
	利用に支障をきたすことがないよう、修繕を実施しているか。	○	○
	事業実施に必要な保険に加入しているか。	○	○
収支	指定管理に係る経費と組織運営に係る経費を区別し、適正に管理しているか。	○	○
	専用の口座、帳簿等を備え、適正に経理処理を実施しているか。	○	○
	収支計画書と比較して大きな隔たりなく、適正に予算を執行しているか。	○	○
	経費の節減に取り組んでいるか。	○	○

○：（実施、管理等が）できている ×：（実施、管理等が）できていない

12 指定管理者による総合評価

<p>第2期指定管理期間の最終年度として、前年度の文部科学省優良公民館表彰優秀館受賞館として恥ずかしくない1年にしようと、施設の維持管理を含めて大いに頑張った一年となりました。昨年度の文部科学省優良公民館表彰により、月刊公民館への寄稿や文部科学省主催の公民館職員専門講座、神奈川県公民館連絡協議会主催の研修など様々な媒体で私たちの事業を紹介することができました。このように障がい者の生涯学習等、第2期指定管理期間で注力してきた事業を各方面で紹介することができたことを素直に喜びたいと思います。また文化会館においても2年連続で「サルサガムテープコンサート」を開催したり、文化会館フェスティバルで「共生共創ステージ」を設けるなど、公民館事業とともに期初掲げた各事業の基本方針に沿った事業を展開することができました。</p> <p>施設の維持管理では計画に沿った保守点検を心掛けましたが、施設の老朽化に伴い突発的な修繕が数多く発生し対応に追われました。結果として修繕に関しては当初計画を大幅に超過する事となりました。</p>

13 施設所管課による総合評価

<p>令和6年度は最終年度として公民館事業は団体との連携、文化会館事業はアウトリーチ事業を行なうなど第2期の集大成になるような事業を実施することができました。</p> <p>公民館事業では綾瀬市身体障害者福祉協会との講座や要約筆記サークルとの講座を実施しています。どちらの講座も団体からの相談・申し出をきっかけとして講座が実施されており、団体との良い連携事例として評価します。</p> <p>また、聴覚障がい者だけでなく、視覚障がい者、身体障がい者も参加する講座を実施できたことは障がい者の生涯学習活動の更なる推進につながったと感じています。</p> <p>文化会館事業では小学校へのアウトリーチ事業を実施しています。これは文化会館事業を文化会館以外で実施することで文化会館に縁のない方にも文化会館事業を鑑賞いただける機会づくりになったものと評価します。</p> <p>その他、利用者の意見を取り入れ中央公民館の視聴覚室の机のレイアウトを変えたことで部屋の稼働率が上がるなど利用者の意見を基にした工夫についても評価します。</p>

指定管理者制度運用状況表

対象期間	令和6年度			所管課	生涯学習課	
施設名	図書館	指定管理者	株式会社 有隣堂		指定管理者制度導入年月日	平成20年4月1日
指定期間	令和5年4月1日 ～令和10年3月31日	5年	募集方法	公募		

1 開館日数

R5	R6
331	330

2 指定管理者の従事者数

正規職員	非正規職員	合計
8	28	36

3 自主事業の開催数

R5	R6
3	1

※指定管理者自らが企画・運営する事業を指します。

4 利用者数

R5	R6	増減理由
98,575	94,145	—

5 苦情件数

R5	R6	増減理由
11	10	—

6 指定管理料

R5	R6	増減理由
103,000,000	103,000,000	—

7 利用料収入（利用料金制度を導入している場合）

R5	R6	増減理由
—	—	—

8 施設管理・運用状況の把握及び改善指示等

（１）次の手法により、施設管理・運営状況を把握しました。

定例会議、月報、年報、図書館職員・アルバイトスタッフからのヒアリング、施設維持管理会社オーエンスからの情報収集、また日々の目視・確認等による。	前年度からの変更	無
---	----------	---

（２）施設管理・運営状況を把握し、次のような改善を行いました。

老朽化により視認しづらくなった屋外の図書館看板を新たに設置した。

（１）次の手法により、利用者の意見を把握しました。

利用者からの意見・要望（文書）である「私の意見」に対しては、回答を図書館内に掲示。口頭での意見・要望については対応者が「利用者の声」として記録し、検討結果などの対応を共有している。また、例年実施している来館者への利用者アンケート調査により、利用実態や満足度の把握に努めサービスに反映させている。	前年度からの変更	無
---	----------	---

（２）利用者の意見を把握し、次のような改善を行いました。（意見がない場合は、今後意見を取り入れるための対応を記入）

北の台図書室の代替事業である移動図書館において、利用者のニーズに合わせた資料内容の調整、南部ふれあい会館の長期休館に伴う代替事業の検討を実施した。また、子どもの読書活動の推進に寄与できる事業として、布えほん展が好評であることから、布えほんをコーナーとして常設設置したほか、地域特性として外国人と交流する機会が多いことから、英語絵本ふれあい事業を開始するなど、読書環境の充実と利用者の利便性向上に努めた。

10 収支状況

項目	予算（円）	決算（円）
収入合計	103,018,000	103,008,460
支出合計	103,018,000	103,008,460
収支差引	0	0

11 評価項目

評価項目		指定管理者	施設所管課
実施体制等	仕様書等に基づき、適正な維持管理業務を実施しているか。	○	○
	施設の目的に沿った自主事業を実施しているか。	○	○
	協定書等に従い、開館日や会館時間等を遵守しているか。	○	○
	業務を実施するために適正な人員を配置しているか。	○	○
	適切な労働環境や教育体制の構築に努めているか。	○	○
	防犯・防災・事故等への対応策を講じているか。	○	○
	協定書等で定められた事業計画書や報告書等を適正に提出しているか。	○	○
	事前に市の承認を受けるなど、適正な外部委託を行っているか。	○	○
	個人情報等を適正に管理しているか。	○	○
	協定書等に従い、情報を適正に管理・公表しているか。	○	○
	備品等を適正に管理しているか。	○	○
サービス	施設の予約や利用等を、公平かつ適正に実施しているか。	○	○
	サービスの向上や利用の促進に向けた取り組みを積極的に行っているか。	○	○
	アンケートやヒアリングなど利用者の声を聞く仕組みを設けているか。	○	○
	利用者からの要望や苦情などに適正に対応しているか。	○	○
	利用に支障をきたすことがないように、修繕を実施しているか。	○	○
	事業実施に必要な保険に加入しているか。	○	○
収支	指定管理に係る経費と組織運営に係る経費を区別し、適正に管理しているか。	○	○
	専用の口座、帳簿等を備え、適正に経理処理を実施しているか。	○	○
	収支計画書と比較して大きな隔たりなく、適正に予算を執行しているか。	○	○
	経費の節減に取り組んでいるか。	○	○

○：（実施、管理等）できている ×：（実施、管理等）できていない

12 指定管理者による総合評価

北の台図書室休館に伴う代替事業として移動図書館への取り組み、絵本ふれあい事業の充実では、布えほんコーナーの常設、英語による読み聞かせ講座を新たに開始。地域の特性を生かしたサービスでは、米海軍厚木航空施設図書館との交流事業と蔵書交換、市役所との連携展示と同時に、「読み継がれる絵本展」、綾瀬市の花「バラ」をテーマにした郷土を知る講座、ものづくり体験講座などを開催し、図書館以外の施設と連携も図ることで利用者の利便性向上に努めた。毎年実施の利用者アンケートでは、施設全体の老朽化に伴う意見の高まりから満足度69.3%と昨年を下回ったが、継続して適切な運営がなされたと判断している。

13 施設所管課による総合評価

他機関と連携しながら、市生涯学習都市宣言30周年記念事業への参画や市の特色を踏まえた多様な事業展開が行われた。また、英語絵本ふれあい事業の導入や多様な図書資料の充実など、さらなる読書環境の充実が図られた。本館の視認性についても看板新設による改善を行ったほか、北の台図書室休館に伴う移動図書館の運行により読書環境の継続提供に努めるなど、効果的かつ効率的な運営が行われており、適正な運営がされていると評価する。

引き続き市民ニーズに即した特色ある図書館運営とサービスの提供により、地域文化を育み、市民の学習を支援していくことを望む。

対象期間	令和6年度				所管課	スポーツ課	
施設名	市民スポーツセンター等 スポーツ施設	指定管理者	ミスノグループ		指定管理者制度導入年月日	平成18年4月1日	
指定期間	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日	5年	募集方法	公募			

1 開館日数

R5	R6
346	345

2 指定管理者の従事者数

正規職員	非正規職員	合計
8	28	36

3 自主事業の開催数

R5	R6
1,771	2,044

※指定管理者自らが企画・運営する事業を指
します。

4 利用者数

R5	R6	増減理由
389,648	388,547	—

5 苦情件数

します。

R5	R6	増減理由
27	49	施設老朽化に対する要望が増えたため

6 指定管理料

R5	R6	増減理由
99,160,000	97,692,000	—

7 利用料収入（利用料金制度を導入している場合）

R5	R6	増減理由
39,654,336	37,454,085	—

8 施設管理・運用状況の把握及び改善指示等

（１）次の手法により、施設管理・運営状況を把握しました。

日次・巡回報告や月1回の指定管理者とのモニタリングにより、施設管理・運営状況の把握をしました。また、不具合や改善箇所については、その都度施設の確認を行い状況把握に努めました。	前年度からの変更	無
---	----------	---

（２）施設管理・運営状況を把握し、次のような改善を行いました。

スポーツセンター及びスポーツ公園の苦情報告やモニタリングの場にて出てくる課題項目について、個別判断できるものから即時対応し、時間を要する問題については打ち合わせを行いながら解決いたしました。 緊急性がある事案については、都度連絡を取り合い迅速に対応し、市民サービスの向上を心がけました。 自主事業においても、市民の需要を鑑みてどのようにスポーツを推進していくか打合せを行いながら、対策をしつつ屋外での行事を実施して、利用者との交流からスポーツの推進に努めました。

9 利用者の意見把握及び改善等

（１）次の手法により、利用者の意見を把握しました。

①スポーツセンター内各所（複数箇所）および綾瀬スポーツ公園レストハウス内設置の「利用者の声」BOXへの投稿 ② 各々施設ホームページにおける「お問い合わせフォーム」への投稿 ③ 各々受付窓口、若しくはスタッフへ直接お申し出いただく御意見／御要望等	前年度からの変更	無
---	----------	---

（２）利用者の意見を把握し、次のような改善を行いました。（意見がない場合は、今後意見を取り入れるための対応を記入）

要望や意見についても、緊急性があるものは都度共有を行い、緊急性の低いものはモニタリングで共有を行いました。利用者の声を運営に可能な限り反映できるよう施設管理を心がけました。

10 収支状況

項目	予算（円）	決算（円）
収入合計	195,683,000	225,686,000
支出合計	193,281,000	231,707,000
収支差引	2,402,000	-6,021,000

11 評価項目

評価項目		指定管理者	施設所管課
実施体制等	仕様書等に基づき、適正な維持管理業務を実施しているか。	○	○
	施設の目的に沿った自主事業を実施しているか。	○	○
	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか。	○	○
	業務を実施するために適正な人員を配置しているか。	○	○
	適切な労働環境や教育体制の構築に努めているか。	○	○
	防犯・防災・事故等への対応策を講じているか。	○	○
	協定書等で定められた事業計画書や報告書等を適正に提出しているか。	○	○
	事前に市の承認を受けるなど、適正な外部委託を行っているか。	○	○
	個人情報等を適正に管理しているか。	○	○
	協定書等に従い、情報を適正に管理・公表しているか。	○	○
	備品等を適正に管理しているか。	○	○
サービス	施設の予約や利用等を、公平かつ適正に実施しているか。	○	○
	サービスの向上や利用の促進に向けた取り組みを積極的に行っているか。	○	○
	アンケートやヒアリングなど利用者の声を聞く仕組みを設けているか。	○	○
	利用者からの要望や苦情などに適正に対応しているか。	○	○
	利用に支障をきたすことがないように、修繕を実施しているか。	○	○
	事業実施に必要な保険に加入しているか。	○	○
収支	指定管理に係る経費と組織運営に係る経費を区別し、適正に管理しているか。	○	○
	専用の口座、帳簿等を備え、適正に経理処理を実施しているか。	○	○
	収支計画書と比較して大きな隔たりなく、適正に予算を執行しているか。	○	○
	経費の節減に取り組んでいるか。	○	○

○：（実施、管理等が）できている ×：（実施、管理等が）できていない

12 指定管理者による総合評価

前年度を上回る記録的な酷暑によるエネルギーコスト高騰や最低賃金上昇による人件費コスト増等、事業環境は厳しかったもののミズノグループ指定管理事業初年度、2年目を踏まえ①利用者目線の施設運営、②業務仕様書の着実な遂行、③自主事業の拡大成長、④提案事項の実行、⑤収支バランスの改善を運営方針として事業を行いました。また、綾瀬市におけるスポーツ振興への一助として、市スポーツ協会およびミズノ本社との連携により、著名なオリンピックを招致～将来を担う子供達へのスポーツクリニック開催することができました。お蔭をもちまして市スポーツ協会はじめ各種利用団体、一般利用者、綾瀬市行政の皆様にもミズノグループ指定管理事業へのご理解、ご認識も一層高まり、これまで3年間の運営進捗としてはご期待に沿えるレベル迄進捗できているものと考えています。

13 施設所管課による総合評価

指定管理事業初年度及び2年目を踏まえ、市民との協調をより重要視しながら運営を行っていた。また、情報の共有はもちろんのこと運用状況の報告や施設の不具合への対応など、質の高い管理及び運営を行っていた。更に、積極的に自主事業の展開を行っていたことから、指定管理者として高く評価している。市主催事業においても、指定管理者に協力をいただき盛大に開催することができた。また、市スポーツ協会と連携し、アスリートを招いて子ども達へスポーツの楽しさを提供し、スポーツ振興に貢献していただいた。今後も、施設の老朽化や利便性の向上に対応できるよう指定管理者との関係性を更に高めて施設の環境を整えていきたい。